

賑わい創生、

自然を体感でききるまち

を目指します

2月3日に執行した福津市長選挙で、市民の皆さんに信任され、小山市長が再選されました。3月6日、就任式を行いました。

さる2月3日に執行されました市長選挙において、市民の皆さまのご信任をいただき、引き続き市長に就任させていただきました。

人口5万7千人の市民の皆さまに感謝申し上げますとともに、おひとりおひとりの1票の重みを胸に刻みながら、新たな気持ちで臨んでまいります。

市民の長年の懸案であったJR福岡駅舎や東西自由通路が完成し、さらにイオンモール福津の開業と、活気あふれるまちとして、多くの人々が訪れていただけるまちとなりました。

2期目就任にあたり、市長として進めてまいりる事業は山積しています。

まず、「郷づくり」については地域自治の主体であって、地域と行政が連携して推し進めるものであり、市の10年先、20年先を見据えた将来への礎となると考えており、さらに8つの「郷

づくり」協議会と切磋琢磨して、充実を図ってまいります。

また、「新原・奴山古墳群」を世界遺産に登録するため、福岡県・宗像市と協力・連携し推進活動を行ってまいります。

福津市には豊かな自然が残っています。特に海の魅力は、市民はもとより市外のかたからも注目を集めるものです。豊かな地元産の野菜や魚介類を大いに活用し、「食の街道」と呼ばれるような名所になればと考えています。

1期目4年間は、がむしゃらに、市のマスタープランを、着実に進めてまいりましたが、まだまだ目標に至っていないものも多々残っております。

今後、高齢者支援、障がい者福祉や子育て支援の充実など早急に着手すべきものは、できるだけ早く、じっくり進むべきものは、確実に実行してまいります。

福津市は、私自身のふるさとであり、私を育ててくれた地域であります。

「愛郷無限」という言葉をもって、わがふるさと福津市のため、「賑わい創生、自然を体感できるまち」を目指して、1期目にまいった種が、2期目には、福津市のさらなる発展のため、若木として伸びながら大きく育つよう、市長としてまい進する所存であります。

市民の皆さまのあたたかいご支援・ご協力を心からお願いします。



福津市長 小山 達生



就任式で花束を受け取る小山市長



新聞記者から取材を受ける小山市長



市職員などを前に就任のあいさつをする小山市長

